

第1・2学年 国語科（複式）学習指導案

日時 平成21年9月30日（水）5校時
対象 1年生 男0名 女2名 計2名
2年生 男2名 女3名 計5名
指導者 渡邊 久仁恵

〔1年生〕

- 1 単元名 くらべてよもう
- 2 教材名 「じどう車くらべ」
(出典 光村1年上)
補助教材「ぜんぶわかる はたらく自動車」
松本 真 中井精也 山崎友也
監修(成美堂) 他、
図鑑・絵本
- 3 単元について

(1) 児童観

児童は、1学期は平仮名、長音、拗音、撥音などの表記、助動詞「は」「を」「へ」の使い方、一文を書くという学習をしてきた。2学期になって漢字の学習が加わり、本教材からは、片仮名が登場する。五十音は、読み書きできるようになったが、拗音・濁音・撥音はまだ不十分であり、初見の文章をすらすら読めない子もいる。

説明的文章の学習は、1学期の「いろいろなくちばし」に次いで2度目である。児童は、説明されている事柄を挿絵を手掛かりにしながら読んだり、説明的文章の基本的なパターンである「問い→答え」の文章の構成を学んだりした。また、その文型を使って、書く活動を行い「くちばしくいずぶっく」を作った。

(2) 教材観

本単元に関わる主な指導事項は、「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと」（読むことイ）である。

本教材は、この時期の児童の興味・関心の対象として代表的なものの一つ、自動車を取り上げた説明文である。「話題・問題提起→問題に対する答え」を「しごと」と「つくり」という二つの事柄の因果関係で述べる形で説明されている。

児童にとって興味・関心をもちやすい自動車を題材にし、学び合うことにより、楽しい説明文の読みを体得することができる教材である。また、自動車についての新しい見方を知らせる文章であることから、学んだことを生かし、更に調べたり表現したりする活動につなげる教材として適した教材である。

〔2年生〕

- 1 単元名 だいじなところに気をつけて読もう
- 2 教材名 「サンゴの海の生きものたち」
(出典 光村2年上)
補助教材「サンゴ礁の生物たち」
本川 辰雄(中央公論社) 他、
図鑑・絵本
- 3 単元について

(1) 児童観

児童は、これまでの説明的文章の学習を通して未知のことを発見できる喜びを味わってきた。「じどう車くらべ」<1年上>や「どうぶつの赤ちゃん」<1年下>では、「問い」の文と「答え」の文があることを文末を手掛かりに探し出すことや、文章全体の問いかけがあることを学習した。「たんぼぼのちえ」<2年上>では、時間的な順序に気をつけながら、たんぼぼの知恵の様子と分けを文末を手掛かりに読むことを学習した。また、読み取ったことをクイズに書き換え、「たんぼぼのちえクイズびょうぶ」を作った。学んだ形式を生かしながら、書きうつしたり書き換えたりして自分なりの文章を書くことに意欲を示す児童が多い。その反面、書き写すのにかなりの時間を要する児童もいる。

(2) 教材観

本単元に関わる主な指導事項は、「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと」（読むことイ）である。

本教材は、サンゴのきれいな海の中で生き物たちが関わり合って生きていく共生について書かれた説明文である。「はじめ(問題提示と問いかけ)・中(具体例1・2)・終わり(まとめ)」という文章構成であり、説明文の全体構想も意識できるようになっている。説明の順序に注意して大事なところをおさえながら読むことができる。

児童にとって、興味深く学習を進めることができる内容であり、予想外の新しい発見をし、説明文を読む喜びを実感できる教材である。また、学んだことを生かし、更に調べたり表現したりする活動につなげる教材として適した教材である。

(3) 指導観

本単元は、

- ① 大事な言葉を押さえながら、挿絵を手掛かりに文章の内容の大体を読むこと
- ② 学習したことをもとに比べながら読むこと
- ③ 事柄の順序を考えて書くこと

の3つを学習する単元とする。そこで、言語活動として、大事な言葉と挿絵を手がかりに文章を読み取り、それぞれの車のしごととつくりをひみつカードに書く。

単元の指導は、以下のように行う。

見通す段階で、「のりものひみつブック」を作ることを知り、学習計画を教師と共に立てる。

つかむ段階では、説明文「じどう車くらべ」のそれぞれの車について、「しごと」と「つくり」を読み取り、ひみつカードに書く言語活動を行う。

- ① 大事な言葉を押さえながら、挿絵を手掛かりに「しごと」と「つくり」の関係を読み取る。
- ② 順序や内容を比べながら大体を読み取る。
- ③ 「しごと」「つくり」の順序にカードに書く。

まとめる・ひろげる段階では、学習したことをもとに、図鑑や絵本から選んだ乗り物の「しごと」と「つくり」をひみつカードに書き換える。

そのためには、自分で情報を取り出し、書き換える力を付けなければならない。そこで、モデル学習を行う。

- ① 挿絵から「しごと」と「つくり」を読み取り、話し合う。(情報の取り出し)
- ② 大事な言葉を使いながら、「しごと」と「つくり」をカードに書き換える。

モデル学習で学んだことを生かし、選んだ乗り物の「しごと」と「つくり」を読み取り、ひみつカードにかきかえる。カードを綴じて、「のりものひみつブック」を完成させる。最後は、担任外の教職員を招待し、1・2年合同で発表する。学習後、廊下に掲示し、上級生や教職員にメッセージを書いてもらう。

(3) 指導観

本単元は、

- ① 大事な言葉を押さえながら、写真を手掛かりに文章の内容の大体を読むこと
- ② 事柄の順序に気をつけて読むこと
- ③ 大事な言葉を落とさずにまとめること

の3つを学習する単元とする。そこで、言語活動として、大事な言葉と写真を手掛かりに、順序を考えながら文章の内容の大体を読み取り、それぞれの生きものの特徴や関わりをひみつカードに書く。

単元の指導は、以下のように行う。

見通す段階で、「生きものひみつブック」を作ることを知り、学習計画を教師と共に立てる。

つかむ段階では、説明文の「サンゴの海の生きものたち」のそれぞれの生きものたちについて特徴と関わりを読み取り、ひみつカードに書き換える言語活動を行う。

- ① 大事な言葉を押さえながら、事柄の順序に気を付けて生きものの特徴と関わり合いを読み取る
- ② 生きものの特徴と関わり合いをカードに書く。
- ③ 関わり合いについてまとめる。

まとめる・ひろげる段階では、学習したことをもとに、図鑑や資料から生き物を選び、ひみつカードに書き換える。

選んだ生きものの特徴や不思議に思ったこと、驚いたことなど読み取り、ひみつカードに書き換える。順序を考えて、カードを綴じて、「生きものひみつブック」を完成させる。最後は、担任外の教職員を招待し、1・2年合同で発表する。学習後、廊下に掲示し、上級生や教職員にメッセージを書いてもらう。

4 目 標

	1 年 生	2 年 生
単元目標	◎ 事柄の順序を考えて、自動車の「しごと」と「つくり」を比べながら読み、他の乗り物の「しごと」と「つくり」に関心を広げようとしている。	◎ 事柄の順序を考えながら読み、海の生き物の特徴や関わり合いについて、読み取り、他の生き物について興味をもって調べ、まとめる。
関心・意欲・態度	◎ 身近な自動車に興味をもち、「しごと」と「つくり」の関係に気をつけながら読もうとしている。	◎ 海の生き物に興味をもち、それぞれの関わり合いに気をつけながら読もうとしている。
書くこと	◎ 教材文を参考にして、簡単な組み立てを考えて好きな乗り物の「しごと」と「つくり」を説明する文を書くことができる。 (Bウ)	◎ 興味のあるものについて調べ、その特徴について説明する文をかくことができる。語や文のつながりに気をつけて、説明する文を書くことができる。(Bウ)
読むこと	◎ 自動車の「しごと」と「つくり」の関係を書かれている内容の順序をおさえながらとらえることができる。(Cイ)	◎ 生き物の特徴を読み取り、その特徴を生かして、互いに役立っていることを事柄の順序を考えながら読み取ることができる。(Cエ)
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○ 片仮名で書く語を読んだり書いたりすることができる。(ウ(ア))	○ 片仮名を読んだり書いたりし、片仮名で書く語を文や文章の中で使うことができる。(ウ(ア))

5 単元の評価規準

	1 年 生	2 年 生
国語への関心・意欲・態度	・興味をもち、事柄の順序などを考えながら読もうとしている。 ・知識を得るために絵本や図鑑等を選んで、読んでいる。	・興味をもち、事柄の順序などに気をつけながら読もうとしている。 ・知識を得るために絵本や図鑑等を選んで、読んでいる。
書く能力	・語と語の続き方に注意しながら、説明する文を書いている。	・語と語や文と文のつながりに気をつけて、説明する文を書いている。
読む能力	・事柄の順序を比べながら、内容の大体を読み取っている。	・事柄の順序を考えながら、内容の大体を読み取っている。
言語についての知識・理解・技能	・片仮名で書く語を読んだり書いたりしている。	・片仮名を読んだり書いたりし、片仮名で書く語を文や文章の中で使っている。

6 単元でつきたい力

< 1 年生 >

- ・ 事柄の順序などを考えながら内容の大体を読み取る力
- ・ 問いと関連付けて説明を読む力
- ・ 挿絵と文章を照応させて読む力
- ・ 学習したことをもとに比べて読む力
- ・ 語や文の続き方に注意しながら書く力
- ・ 事柄の順序を考えながら書く力

< 2 年生 >

- ・ 事柄の順序などを考えながら内容の大体を読み取る力
- ・ 問いと関連付けて説明を読む力
- ・ 写真と文章を照応させて読む力
- ・ 問いと関連付けて説明を読む力
- ・ 語や文の続き方に注意しながら書く力
- ・ 大事な言葉を落とさずにまとめる力

	学 習 活 動	主な学習内容	評価規準【評価方法】	Cの児童への支援
見通す ①	・自分たちが知っている自動車について話し合う。 ・教材文を読み、自動車に興味や関心をもつ。 ・単元の学習課題「のりものひみつブックをつくろう」を設定し、学習計画を知る。	・マッピング ・「のりものひみつブック」の形式 ・学習計画	・自動車に興味や関心をもち進んで発言している。 ・学習の見通しを持てる。 【関・意・態】発言	☆写真を手がかりにして、気づかせる。
	・教材文を読み、全文の構成を調べる。 ・新出漢字を学習する。 ・片仮名の学習をする。	・「問い」と「答え」 ・新出漢字 ・片仮名で表す言葉	・問いかけ文と答えの文をとらえ、3つの乗り物について「しごと」と「つくり」が書かれていることが分かる。 【読】ワークシート・発言	☆ことばの意味を確認し、挿絵と照らし合わせる。 ☆既習の説明文の構成を想起させる。
つかむ ③	・バスや乗用車の部分を読み、しごととつくりを読み取る。 ・作品例を参考にしてカードの書き方を知る。	・しごと ・つくり ・サイドライン ・文型 「～は～しています。」 「そのために、～あります。」 ・順序 ・ひみつカードの書き方	・大事なことばと絵を手掛かりにバスや乗用車の「しごと」と「つくり」の関係を読み取り、カードに書いている。 【読】ワークシート・カード	☆絵とことばを合わせて確かめながら読むようにさせる。
	・トラックのしごととつくりを読み取り、カードに書く。	・サイドライン ・文型 「～は～しています。」 「そのために、～います。」 ・順序 ・比べる	・前時と同じ文章構成であることに気づき、トラックの「しごと」と「つくり」を読み取り、カードに書いている。 【読】ワークシート・カード	☆前時の学習を想起させ、書かれている順番を確認させる。
	・クレーンのしごととつくりを読み取り、カードに書く。	・サイドライン ・文型 「～は～しています。」 「そのために、～います。」 ・順序 ・比べる	・前時と同じ文章構成であることに気づき、クレーンの「しごと」と「つくり」を読み取り、カードに書いている。 【読】ワークシート・カード	☆前時の学習を想起させ、書かれている順番を確認させる。
ひろげる ⑦	・図鑑や資料、教科書の中から、好きな乗り物を選んで調べる。	・読書の仕方 ・資料の見方	・図鑑や資料、教科書の中から好きな乗り物を選んでいる。 【読】観察・発言	☆探しやすいようにある程度選んで提示する。
	・はしご車のしごととつくりを挿絵から読み取る学習をする。 【モデル学習】 【本時】	・挿絵の見方 ・比べ方 ・サイドライン	・挿絵からしごととつくりを読み取り、カードに書いている。【読】ワークシート・カード	☆順序に合わせて考えさせる。
⑧	・選んだ乗り物について読み、しごととつくりをカードに書き、「のりものひみつブック」を完成させる。	・サイドライン ・大事な言葉 ・表紙の書き方 ・ひみつブックの作り方	・選んだ乗り物の情報を読み取り、カードに書いている。 【読】ひみつブック	☆見本を提示してまねさせる。
⑨	・担任外の先生方を招待し、「のりものひみつ」の発表会をする。(1・2年合同) ・廊下に掲示し、メッセージをもらう。	・発表の仕方 ・感想の述べ方	・互いに調べた乗り物について発表している。 【読】発言・メモ	☆基本の話型を提示して練習させる。

	学 習 活 動	主な学習内容	評価規準【評価方法】	Cの児童への支援
見 通 す ①	・知っている海の生き物について話し合う。 ・教材文の範読を聞き、サンゴの海の生き物に興味をもつ。 ・新出漢字を学習する。	・サンゴ ・「生きものひみつブック」 ・学習計画	・教材文に関心をもち、作ってみようという意欲をもっている。 【関・意・態】 発言・態度	☆挿絵や写真を提示する。
	・形式段落をおさえる。 ・教材文を読み、大まかな文章構成を調べる。 ・単元の学習課題「生きものひみつブックをつくらう」を設定し、学習計画を立てる。	・形式段落 ・文章構成 「問い」と「答え」 「まとめ」 ・新出漢字	・説明の順序にそって読み取り、カードに書くことを知り、計画を立てようとしている。【関・意・態】 発言	☆挿絵と照応させながら読ませる。
つ か む ③	・イソギンチャクとクマノミの体の仕組みや特徴を読み取りワークシートにまとめる。	・文末表現（「です」「ます」「のです」） ・接続語（「でも」、 サイドライン	・イソギンチャクとクマノミの特徴を読み取っている。 【読】 ワークシート・発言	☆絵に合っているか考えさせる。
	・イソギンチャクとクマノミの関わり合いを読み取る。	・関わり合い ・サイドライン ・接続語「だから」「こうして」	・イソギンチャクとクマノミの関わり合いの文を書いている。 【読】 ワークシート・発言	☆接続語や文末表現に着目させる。
⑤	・ホンソメワケベラの体の特徴と大きな魚との関わり合いを読み取る。	・文末表現（「からです」） ・接続語（「でも」） ・サイドライン	・ホンソメワケベラの特徴が分かり、大きな魚との関わり合いの文を書いている。 【読】 ワークシート・発言	☆前時までの学習を想起させ、特徴と関わり合いを読み取らせる。
	・まとめの段落を読み、関わり合いについてまとめる。	・まとめの文 ・接続語「このように」	・まとめの段落に書かれている内容を具体的な事柄と結びつけながら読み取っている。 【読】 ワークシート・発言	☆役割演技をさせて、確かな読み取りをさせる。
⑦ ひ ろ げ る ⑧	・選んだ生きものについて読み、カードに書く。 【本時】	・サイドライン ・大事な言葉	・情報を読み取り、カードに書いている。 【読】 カード	☆サイドラインの確認をする。
	・もう1つ選んでひみつカードに書き、「生きものひみつブック」を完成させる。	・サイドライン ・大事な言葉 ・まとめ方 ・表紙の書き方 ・ひみつブックの作り方	・表紙の作り方を知り、作っている。 【読】 ひみつブック	☆作品例を提示する。
⑨	・担任外の先生方を招待し、「生きものひみつ」の発表会をする。（1・2年合同） ・廊下に掲示し、メッセージをもらう。	・発表の仕方 ・感想の述べ方	・互いに調べた生きものについて、感想を交流し合うことができる。 【関・意・態】 発言・観察	☆友だちの言葉からヒントをもらい、いいところを見つける。

8 本時の指導（7／9）

< 1 年生 >

(1) 授業の構想

仮説（1）に関わって、本時でつけたい力は、「写真や挿絵を手掛かりに読み取る力」「学んだことをもとに読み取る力」である。

仮説（2）に関わっては、以下の通りを行う。

まず、「つかむ」の段階で、学習の流れを確認する。このことにより、学習の見通しを持たせ、目的意識を持って学習に取り組ませたい。また、「たしかめる」段階では、挿絵から読み取る学習【モデル学習】として、挿絵から読み取ったことを話し合い、しごととつくりをワークシートに書く。その後、ペア学習で確認する。更に、教師も含めた学び合いで、しごととつくりを確認する。「まとめる」段階で、自分の書いた文を音読し合い、本時の活動を振り返る。

(2) 目標

挿絵をもとに話し合い、はしご車のしごととつくりをひみつカードに書き換えることができる。

(3) 展開

指導上の留意点（・） 評価（◎）及び支援（⊕）	主な学習内容	○ 学 習 活 動 ・予想される子どもの学習状況	段階	形態
<ul style="list-style-type: none"> ・共通導入を図る。 ・はしご車のひみつカードを作ることを確認する。 ・ひみつカードには、しごととつくりがあることを確認する。 ・今までは、挿絵と文があったけど、今日は、挿絵だけでしごととつくりの文がないことに気付かせる。 ・解決の見通しをもたせる。 ・見通しを持って学習が進められるように、本時の流れと目安の時間を提示する。 ・②～③は間接指導である。この部分を国語リーダーが中心に進めることを確認する。 		1 本時の学習課題を把握する。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・問いかげ文（しごと・つくり） ・答え（乗り物の名前・しごと・つくり） ・写真や挿絵の見方 	<div data-bbox="662 913 1358 992" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">はしご車のひみつカードをつくろう。</div> 2 課題解決の方法と学習の流れを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ① 挿絵からしごととつくりを読み取る。 <ul style="list-style-type: none"> ・はしご車の仕事と作りについて話し合う。 ② ひとり学び <ul style="list-style-type: none"> ・はしご車のしごととつくりの文を考えて、カードに書く。 ③ 学び合い（グループ学習） <ul style="list-style-type: none"> ・しごと ・つくり ④ 書きなおす <ul style="list-style-type: none"> ・絵や吹き出し ⑤ まとめ ⑥ ふりかえる 	つ か む 5 分	直 接 5 分

<ul style="list-style-type: none"> ・自動車の説明に必要な言葉を確認する。 ・はしご車とポンプ車の挿絵を比べて見ることから、違いや特徴に気付かせる。(わざ) ・話し合うことでよりよい表現を考えさせる。(わざ) ・話し合いで出てきた言葉を板書する。 <p>㊦ 大事な言葉(わざ)と話し合いで出てきた大事な言葉からしごととつくりの文を考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書ける子には、2つだけでなく、他の観点でも書かせる。 <p>㊧ 挿絵からしごととつくりを読み取り、カードに書いている。</p> <p>㊨ 学び合いは、国語リーダーがすすめる。国語リーダーには、話し合いの手引きを利用させる。</p> <p>㊩ 教師と確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学び合い後、書き直しが必要な児童は書き直しをさせる。 ・時間に余裕のある児童は、吹き出しも書かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・挿絵の見方 ・比べ方 ・説明に必要な言葉(わざ) 「～は、～しごとをしています。」 「そのために、～います。」 「～あります。」 <p>・グループ学習の仕方</p> <p>・絵の描き方</p> <p>・吹き出しの書き方</p>	<p>4 挿絵を見て話し合う。</p> <p>① しごととつくりの文を知ることを知る。</p> <p>② はしご車とポンプ車の挿絵をくらべて、はしご車のしごととつくりを読み取ったことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しごと 「ビルのかじのとき、人をたすける。」 ・つくり 「はしごがついている。」 「ポンプがついていない。」 「のびたりちぢんだりする。」 <p>5 ひとり学びをする。</p> <p>① 話し合ったことをもとにしごととつくりの文を考える。</p> <p>② ひみつカードに書く。</p> <p>6 学び合いをする。</p> <p>○ グループ学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語リーダーがすすめる。 ・一人ずつ発表する。 ・しごととつくりが書けたか確認する。 <p>7 書き直しをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書き直しする。 ・絵を描く。 ・吹き出しを書く。 	<p>た</p> <p>し</p> <p>か</p> <p>め</p> <p>る</p> <p>間</p> <p>接</p> <p>32分</p> <p>7分</p> <p>間</p> <p>接</p> <p>5分</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ペアになって読む。 ・本時の学習をして分かったことについて発表させる。 ・次時は、自分が選んだ乗り物のひみつカードを作り、綴じて「のりものひみつブック」を完成させることを知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音読の仕方 ・発表の仕方 	<p>8 まとめの音読をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の書いた文を読む。 <p>9 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習をして分かったことを発表する。 <p>10 次時の学習を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次時は、自分が選んだ乗り物のひみつカードを作り、綴じて完成させることを知る。 	<p>ま</p> <p>と</p> <p>め</p> <p>る</p> <p>間</p> <p>接</p> <p>8分</p> <p>8分</p>

じどう車くらげ

はしご車のひみつカードをつくろう。

まなびかた

- はなしあい
- ひとりまなび
- ・ しごととつくりのぶんをかく。
- ペアがくしゅう
- まとめ
- かきなおし(ふきだし)
- ふりかえり

はしご車

ポンプ車

(作り)

(しごと)

はしご車

○さしえのみかた

- ・ くらべてみる
- ・ ちがうところ
- ・ すごいところ

8 本時の指導（7／9）

< 2 年生 >

(1) 授業の構想

仮説 1 に関わって、本時でつきたい力は、「資料から大事な事柄を読み取る力」「生き物のひみつをカードに書く力」である。

仮説 2 に関わっては、以下の通りに行う。

まず、「つかむ」の段階で、学習の方法と学習の流れを確認する。このことにより、学習の見通しを持たせ、目的意識を持って学習に取り組ませたい。また、「たしかめる」段階では、ひとり学びで、選んだ生き物について文末表現や写真・挿絵を手掛かりに読み取り、生き物の特徴についてひみつカードに書く。その後、グループ学習で確認し、書き直す。「まとめる」段階で、本時の活動を振り返り、カードの書き方（読み取り方）を再度確認し、今後活かせる力として意識させる。

(2) 目標

選んだ生き物をひみつカードに書き換えることを通して、生き物の特徴を読み取ることができる。

(3) 展開

		○ 学 習 活 動 ・予想される子どもの学習状況	主な学習内容	指導上の留意点（・） 評価（◎） 支援（⊕）
直 つ か む 接 5 分	5 分	1 本時の学習課題を把握する。		<ul style="list-style-type: none"> ・共通導入を図る。 ・選んだ生きもののひみつについてカードに書く学習をすることを確認する。 ・解決の見通しをもたせる。 ・課題解決の方法（ひとり学びの仕方）を確認する。 ・見通しを持って学習が進められるように、本時の流れと目安の時間を提示する。 ・①③は間接指導である。この部分を国語リーダーが中心に進めることを確認する。
		えらんだ生きもののひみつカードをつくらう。		
		2 学習の流れと課題解決の方法を確認する。	・課題解決の方法と学習の流れ	
		① ひとり学び ・選んだ生き物の資料や図鑑を読む。（微音読） ・サイドラインを引く。（ひみつ） ・ひみつカードに書く。	・サイドラインの引き方	
		② 学び合い(グループ学習) ③ 書きなおす。 ・絵や吹き出し		
		④ まとめ		
		⑤ ふりかえる		

間 接 10 分	た し か め	4 ひとり学びをする。 ① 選んだ生き物の図鑑（資料）を読む。 ② ひみつ（特徴・知恵・不思議）にサイドラインを引く。 ③ カードに書く。（自分の考えた文）	・サイドラインの引き方（わざ）とくちょう ちえ ふしぎ すごい	・2の声で音読させる。 ㊤ サイドラインを引くために選んだ生き物のコピーをとって提示する。 ㊦ 生き物のひみつをとらえ、カードに書いている。 ㊧ サイドラインの確認をする。 ・時間になったら、途中でも止めさせる。 ・早く書き終わった児童には、絵を描かせる。
		5 学び合いをする。 ○ ペア学習 ・学習リーダーがすすめる。 ・一人ずつ発表する。 ・主語と述語に気をつけて書いているか確認する。	・ペア学習の仕方 ・話し合いの手引き	㊤ ペア学習は、国語リーダーがすすめる。国語リーダーには、話し合いの手引きを利用させる。 ㊦ 教師と確認する。 ㊦ 選んだ生き物のしごととつくりを読み取り、カードに書くことができる。 ㊧ 順序に合わせて考えさせる。 ・時間に余裕がある場合は、絵や吹き出しも書かせる。
間 接 7 分	32 分	6 書き直しする。 ・書き直しをする。 ・絵を描く。 ・吹き出しを書く	・絵の描き方 ・吹き出しの書き方	
直 接 13 分	ま と め る	7 まとめの音読をする。 ・自分の書いたカードを読む。 8 学習を振り返る。 ・学習をして分かったことを発表する。 9 次時の学習を知る。 ・表紙と目次を作り、カードを綴じて「生きものひみつブック」を完成させることを知る。	・音読 ・発表の仕方	・ペアになって読む。 ・本時の学習をして分かったことについて発表させる。 ・カードの書き方を再度確認する。 ・次時は、もう1つ選んでひみつカードを作り、綴じて「生きものひみつブック」を完成させることを知らせる

サンゴの海の生き物たち
もとかわたつお

えらんだ生きもののひみつカードをつくろう。

まなびかた

- ひとりまなび
 - ・よむ。
 - ・サイドラインをひく。(とくちよう)
 - ・カードにかく。
- ペアがくしゅう
- 書きなおし(絵・ふきだし)
- ふりかえり

生きものの名前

- ・とくちよう
- ・ふしぎ
- ・すごい
- ・ちえ